

〈資 料〉

## 弱さの開示から夢の追求へ

——「ザ・マスミサイル」が構成する青年の掟——

Disclose Your Fragility and Go on in the Pursuit of Your Dream :  
Adolescent's belief advocated by THE MASS MISSILE

諸 井 克 英  
(Katsuhide MOROI)

### はじめに

ザ・マスミサイルは、'00年に高木芳基によって結成され、東京・吉祥寺を中心に活動を開始した。'02年には『教科書』(A)でインディーズ・アルバム・デビューをし本格的に活動を開始したが、'07年にメンバーの脱退による解散危機に直面した。しかし、新たなメンバーを加えザ・マスミサイルとしての活動が再開された(<http://www.massmissile.com/pc.html>)。現在の正式メンバーは('10年9月時点)、高木芳基(vocal)、新田洋輔(bass)、中野誠一(drums)、高橋康宏(piano/organ)、前川真吾(guitar)である。

Jourard (1971)は、臨床実践の中から人々の心理学的健康にとって自己開示が鍵となることを見出し、自己開示を「自分自身をあらわにする行為であり、他人たちが知覚しうるように自身を示す行為」と定義した。この自己開示は、二者間の親密さを示す絆の形成にとって重要である。しかし、一般的に男性よりも女性のほうが自己開示傾向が強い(Derlega, Metts, Petronio, and Margulis, 1993; 榎本, 1997 参照)。この性差は、伝統的性役割によって課された目標の違いに由来する。つまり、他者との親密な関係形成・維持が重要な目標である女性と対照的に、男性は、課題達成とその実現のための自己感情の統制が課されている。その結果、他者との競争が強いられる男性は、内面の開示とりわけ自分の「弱さ」の開示を回避する。

ザ・マスミサイルによって構成される歌詞の基底に据えられた一貫した姿勢は、「弱さ」の吐露をバネにした

「強さ」へのあくなき「自己転化」の試みの称揚である。彼らのデビュー作品である「教科書」(A)では、「何々『もう泣かないで』何々『弱音吐かないで』俺ならもう少し無様に人間らしく生きたいわ」と基本的信念が宣言される。彼らは、自己開示研究で想定される男性像に一見反する青年像を構成するのだ。

J-ポップの歌詞分析を試みた難波江(2004)によれば、その大半が「若者たちに潜在している性欲望に働きかけ」、「恋愛の可能性として消費させるパック商品」である。彼は、その中に男性の「弱者」化を嗅ぎとる。つまり、難波江は、「男女がともに『男>女』の規範を脱ぎ捨てて、そこに『生身のわたし』を『弱者』として発見」という構造化がJ-ポップの中に生じていることに注目した。しかしながら、後述するように、ザ・マスミサイルが吐き出す歌詞は、男と女の枠組みに拘束された「弱者」化ではなく、時代性を帯びた青年の生き方の唱導である。

### 「弱さ」の肯定

ザ・マスミサイルは、自分の「弱さ」の自己開示の象徴である「泣く」という非言語的行動を推奨する。「困った時はいつでも」、「自棄」になって、「泣き叫べばいいじゃん」(E: <OH YEAH>)。「弱さ」を覆い隠したとしても、それは「強さ」の証しではなく、「弱さ」を開示できない「臆病さ」を示しているにすぎない(C: <君がいてくれてよかった>)「弱みの一つも涙一つも見せることなく僕をつらぬいた 強いわけじゃないよ むしろ臆病なだけさ」。

彼らによる「弱さ」の肯定は、居直りではない。現状に滞留することよりも、あくなき夢の追求が唱導される

(F:〈あきらめちゃ〉「あきらめちゃ駄目だ あきらめちゃ駄目だ」「立ち上がることさ その一点だけは」)。

ザ・マスミサイルにとって、「弱さ」とは人間の本质として設定される。「弱さ」の沈殿こそ人間の証しなのだ。したがって、自分の奥に潜む「弱さ」の吐露だけでなく、「弱さ」を外見的に顕在化する他者も自分と同じ人間として共感される (E:〈比べてごめんなさい〉「親父が自殺した大阪のあの娘も 半身不随の車椅子のおばちゃんも 嫌になるほど人間くさいぜ」)。つまり、社会的比較による自己高揚機能を発動 (Festinger, 1954) するのではなく、「弱さ」を紐帯とした、自分と他者の「人間」としての心理的結合にこの比較が寄与するのだ。

### 夢の追求

ザ・マスミサイルが設定する「夢」は、いわゆる「立身出世」的なものではない。現状から一歩踏み出すことなのだ (D:〈花道〉「踏み出した その大切な一歩が僕らの春となる それが花道となる」)。この現状からの踏み出しは、人間に対する可塑性の信念によって支えられる (C:〈このままじゃこのままでも〉「一つだけ確かなことがあるよ『変わってゆける』こと」)。人間は、夢を抱くことによって変容可能なのだ。

この夢の実現は、先に述べた自分自身の「弱さ」を自覚しながら試みられる。しかし、これは、「本当は一人じゃない」、「本当は仲間がいる」という対人環境への信頼と交絡させた形で目指され、この信頼が通常は隠蔽される「弱さ」の吐露を可能にするのだ (B:〈仲間のうた〉「今日の今まで口に出せなかった 強いだろうって いきがっていたんだ」)。

日常生活の中で何か困難な事態に遭遇して誰かに援助を要請したり、精神的な支えとなる人からアドバイスを受けたりすることがある。逆に、困難に陥っている人に援助を与えたりすることもあるだろう。日常生活の中で交換される物質的援助や精神的援助を、社会的支援と呼ぶ。Cassel (1974) などの臨床的所見を契機に、社会的支援研究は隆盛を極めており、わが国においてもさまざまな研究が公刊されている (浦, 1992 など)。つまり、ザ・マスミサイルは、自分の「弱さ」の自覚を支援的な対人環境の構築によって (C:〈人と花〉「何故生きるかより 誰と生きるかだ」)、相殺してしまうのだ (C:〈人のため〉「『仲間がいるじゃないか』そんなこと言われなくっても 本当は知っていたんだろ」)。

### 「強い」男性像を超えて

先述したように、自己開示を性役割と結びつける枠組

みから見れば、ザ・マスミサイルの「弱さ」の自己開示は、いわば「脱男性化」の試みとなる。しかし、決してそうではなく、わが国が直面している状況すなわち長期化する構造的不況により「使い捨てられる」若者の問題が顕在化している状況 (原・山内, 2009) の中で創出された一つの志向性なのだ。内田 (2010) は、わが国における強い男性像が明治以来の教育政策として唱導されたことを少年雑誌の言説分析から解き明かした。『『弱』に対する嫌悪と、『弱』と判定されてはならないという強迫概念』、つまり「ウィークネス・フォビア」(内田, 2010) が歴史的に生成されたのである。

このザ・マスミサイルが構成する「弱さ」の開示は、松岡 (2005) が展開したフラジリティ (fragility) の考えと一致する。松岡は、「部分はその断片性においてしばしば威張った全体を凌駕する」ことに執着する。その上で、「欠陥や弱点や不足」が、「反転して、新たな『強さ』の契機にもなりうる」ことを指摘する。

精神分析の立場から、渡辺 (1986) は、いわば「ウィークネス・フォビア」(内田, 2010) の重圧に耐えきれず、性的マイノリティのサブカルチャー (①同性愛者, ②異性装嗜好者, ③下着フェチズム, ④変成症) へと埋没していった男性の心理的力動を解き明かした。興味深いことに、渡辺は、母親との原初関係性から実は「男性は、深い無意識の底では、相当程度の女性的な部分を隠し持っている存在」と仮定し、そもそも男性性自体が「脆弱で不安定」であると主張する。

「中立的普遍性」を装っても結局はロックの歴史が男性性の鼓舞・唱導に由来するという視点からは (南田, 2009 など)、ザ・マスミサイルの自分の「弱さ」の開示は男性側の女性化あるいは女性との依存的関係の希求 (難波江, 2004) と解釈できる。しかしながら、内面の「弱さ」に対する決別の歴史的称揚 (内田, 2010) という観点に立つと、「弱さ」の開示は脱男性的行為ではなく、若者がおかれている時代状況の中での方略と見なすこともできる。

もともと、わが国の J-ポップの歌詞状況は、恋愛衝動喚起としての機能 (難波江, 2004) だけでなく、自己内面の省察機能も帯びている。'83 年に「15 の夜」で登場した尾崎豊は、中・高校生から圧倒的支持を得る。これは、彼が当時の管理化された教育システムに対抗して、内省的に「生きること」の意味を説いたからだ (P:〈十七歳の地図〉「電車の中押し合う人の背中にいくつものドラマを感じて 親の背中にひたむきさを感じて このごろふと涙こぼした 半分大人の Seventeen's

map)」。尾崎が駆け抜けた時代はわが国が加速された経済的成長過程の真っ只中であり、華やかな物質的豊かさと乖離した若者の存在意義を尾崎は問うたのである。

おわりに

Ritzer (1996) は、①効率性、②計算可能性、③予測可能性、④非人間的技術体系による制御という4次元から構成される「ファーストフード・レストランの諸原理」が、教育、職業などの「社会のすべての側面」に浸透していることを指摘した。つまり、定型化された労働と組織によって特徴づけられる「マクドナルド化された社会」の中で、外見的行動と内面に生じる感情との乖離が人間を苦しめるのだ。結局、ザ・マスミサイルが唱導する「人間」とは、行動と感情の乖離がない生き方を指している。彼らは、孤独世界の執着によって内面的な「弱さ」を自己快楽化するのではなく(諸井, 2009)、あくまでも強さへの「自己転化」のためのバネとする。

ところで、荻谷(2001)は、'70年代末と'90年代末に実施した高校生調査を比較し、'90年代でのみ「下位-出身階層」で「今の瞬間」の享受と自尊心の高揚の結合を認めた。つまり、荻谷は「降りた者たちを自己満足・自己肯定へと誘うメカニズムの作動」を発見したのだ。'80年代末のバブル経済が崩壊し「構造的な不況」に向かう中で「教育における階層間格差の拡大」を支える心理的メカニズムが存在することを浮き彫りにした。しかしながら、彼の論議は、いわば「立身出世」概念に囚われており、ザ・マスミサイルが指摘する「血統書付きのバカ」(B:〈雑種〉)の側にある。ザ・マスミサイルが構成する青年は、決して「降りて」いないのだ(B:〈雑種〉「僕らも見ると雑種だけれど」; D:〈特別じゃない〉「普通って大変だぜ 大きな顔して道の隅っこを歩く」)。

学校社会での成功に対する「自分らしさ」概念の対置によって若者を挑発することは、「ザ・ブルーハーツ」に代表されるわが国のパンク・ロックの伝統といえる(諸井, 2005)。この伝統を継承しながら、ザ・マスミサイルは、「マクドナルド化」(Ritzer, 1996)が浸透する社会状況の中で「使い捨てられる若者」(原・山内, 2009)を覚醒し続ける。

## 引用文献

- Cassel, J. 1974 Psychosocial processes and “stress”: Theoretical formulation. *International Journal of Health Service*, 4, 471-482.
- Derlega, V. J., Metts, S., Petronio, S., and Margulis, S. T. 1993 *Self-disclosure*. Sage Publications, Inc. 斉藤勇

監訳『人が心を開くとき・閉ざすとき-自己開示の心理学-』1999 金子書房

榎本博明 1997『自己開示の心理学的研究』北大路書房

Festinger, L. 1957 A theory of social comparison process. *Human Relations*, 7, 117-140.

原清治・山内乾史 2009『「使い捨てられる若者たち」は格差社会の象徴か-低賃金で働き続ける若者たちの学力と構造-』ミネルヴァ書房

Jourard, S. M. 1971 *The transparent self*. Litton Educational Publishing, Inc. 岡堂哲雄訳『透明なる自己』1974 誠信書房

荻谷剛彦 2001『階層化日本と教育危機-不平等再生産から意欲格差社会へ-』有信堂

松岡正剛 2005『フラジャイル-弱さからの出発-』ちくま学芸文庫

南田勝也 2009 ロック音楽の超越性と男性性-ピエール・ブルデューの同性理論を基に-宮台真司・辻泉・岡井崇之編『「男らしさ」の快楽-ポピュラー文化からみたその実態-』勁草書房 247-275 頁

諸井克英 2005『ヒロイズムの掟-青年のかたち-』晃洋書房

諸井克英 2009 孤独の深淵へ-「FOOT STAMP」が吐き出す青年の実存-同志社女子大学生生活科学, 43, 52-55.

難波江和英 2004『恋するJポップ-平成における恋愛のディスコース-』冬弓舎

Ritzer, G. 1996 *The McDonalidization of society*. Pine Forge Press. 正岡寛司監訳『マクドナルド化する社会』1999 早稲田大学出版部

内田雅克 2010『大日本帝国の「少年」と「男性性」-少年少女雑誌に見る「ウィークネス・フォビア」-』明石書店

浦光博 1992『セレクション社会心理学8 支えあう人と人-ソーシャル・サポートの社会心理学-』サイエンス社

渡辺恒夫 1986『脱男性の時代-アンドロジナスをめざす文明学-』勁草書房

[音源]

ザ・マスミサイル

A:『教科書』POCE-2075 (’02年6月)

B:『仲間のうた』WINN-82127 (’03年4月)

C:『人間でよかった』SRCL-5987 (’04年9月)

D:『最寄りの夢』SRCL-6388 〈'06 年 8 月〉

尾崎豊

E:『歩きまくり』MASSR-001 〈'08 年 2 月〉

P:『十七歳の地図』SRCL-1910 〈'83 年 12 月〉

F:『人間ダース』MASSR-003 〈'08 年 12 月〉

(2010 年 11 月 30 日受理)